



OSAKA JAPAN

# SUITA ESAKA ROTARY CLUB

## CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27  
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30  
会長:八橋志夫 幹事:木元良三 会報委員長:飛田昭男

### ◇ 2008年8月5日 第872回例会(第871号) ◇

#### ☺ 本日の例会 ☺

今週の歌 「それでこそロータリー」

卓話 「会員増強月間に因んで」

田中茂晴 広報委員長

#### ☺ 次回例会のお知らせ(8月9日) ☺

「夏の家族会」

#### 前回〔7月29日〕例会記録

#### 会長の時間

八橋 会長

ご承知のように当地区のガバナーは、大阪中央RCのメンバーである横山守雄さんですが、ガバナー曰く「自分の職業をこれまで長年にわたり何とか無事に続けてこられたのは、ロータリーからいろいろなることを学び、ロータリー精神を自分の仕事に生かすことに努めてきたからではないかと思っています。ロータリーに出会ったことに感謝しています」ロータリーを説くときにはこのように答えているようです。また「ロータリアンは職業倫理の向上を目指し、四つのテストを職場で、家庭で、ロータリークラブで、そして社会で実践しましょう」とも述べられています。たしかに四つのテストを実践したならば偽装等々の不祥事はないわけですし、またそれにより会社を整理することもなかったと思います。

私は今年度の目標を会員増強とし「増強なくして発展なし、増強なくして活性化なし、増強なくして奉仕なし」と述べてきました。皆様の絶大なるご協力のもと会員は増えたといえます。しかし会員増強も、CLP導入も全てはクラブの活性化が目的で

#### 出席報告

山崎 委員長

#### 【7月29日】

在籍会員 40名 (内出席規定適用免除者 10名)

出席会員 32名 (内出席規定適用免除者 10名)

ホームクラブ出席率 80.00%

7月8日のMUを含む出席率 97.36%

あります。クラブの活性化は我々先輩会員がこの会員増強に刺激を得て、過去に学んできたロータリー精神を、四つのテストを新会員の方々に教育できるように再学習し、我々自身が変わらなくてはクラブ内の真の活性化はないと思います。机上の理論でなく、皆様一人ひとりが「拙者がやらねば誰がやる」の気持ちで「Here We Go」です。そうすれば奉仕事業にも前向きなご意見が出され参加する奉仕活動がなされると思います。「静観」とか「お手並み拝見」は要りません。新会員の方々に接する時には自分の子供を教育するように、またお孫さんに言葉をかけるように、四つのテストの言動を背中であらわされた時には新会員の方々は「吹田江坂ロータリークラブに入会させて頂き良かった」と思うでしょう。我々先輩会員の価値を、ロータリークラブの存在を再認識することでしょう。そして奉仕事業に理解を深めていくでしょう。自分の知人、友人をクラブに推薦するようになるでしょう。そうなれば退会とは無縁です。あるクラブは知名度のある〇〇会社の社長も会員やで、またあるクラブは〇〇建設の社長も会員やで。そんなことをキャッチフレーズにしてクラブ入会を勧めているところもあるかも知れません。会員増強においてそれはそれで有効な手法だと思います。しかし幸いなことに吹田江坂ロータリークラブにはそれほど看板がないのが現状だと思います。そのかわりに各人が吹田江坂ロータリークラブを好きになり、新会員の方々に最高級の出逢いを提供してあげましょう。出逢えたことを自慢してもらえ先輩ロータリアンをめざしましょう。

## 幹事報告

木元幹事

◎第1回西日本I D陸上競技選手権大会開催の案内が参りました。多数のご声援よろしく願いいたします。回覧を回しますのでご都合をお知らせ下さい。

日時：8月2日(土) 13:00 開会式  
14:00 競技開始

8月3日(日) 10:00 競技開始

会場：長居第2陸上競技場

◎地区ロータリー財団セミナーの案内

日時：8月30日(土) 9:30~12:30

場所：ヴィアール大阪 2階 安土の間

出席義務者：八橋会長、木元幹事、西上奉仕活動副委員長(ロータリー財団担当)

◎クラブ職業奉仕委員長会議の案内

日時：8月30日(土) 13:30~16:00

場所：ヴィアール大阪 2階 安土の間

担当：杉本奉仕活動副委員長よろしく願います。

## ニコニコ箱

赤尾会員 取引先で、ちょっと良いことが、有りました。

寺井会員 本日の卓話、ヨロシク。

今村会員 連続欠席のおわび。

本日分 13,000円

累計 242,000円

## 奉仕活動委員会

速見委員

(米山担当)

2008年度米山奨学委員長およびカウンセラー研修会〈報告〉

2008年7月26日(土) 10:00~12:00

薬業年金会館 601号室

標記研修会に当クラブより、長島カウンセラー、速見米山担当が出席した。以下の通り報告する。

[内容]

次第に則り、来賓紹介、ガバナー挨拶があり、米山奨学会常務理事、委員長、副委員長からそれぞれの立場で話しをされた。

委員長は活動方針の中で、奨学生の居るクラブには地区委員会から、メイクアップに行く。又、毎月1万円を送ってくる学友がいることも紹介された。

副委員長はスライドを使い、奨学生選考に当たったの基準・留意点、カウンセラーの具体的な活動、奨学生との接し方等について説明がなされた。

引き続いて、6テーブル(テーマも別々)に別

れてグループ討議が行なわれた。

◎討議テーマ

A：奨学生の世話で困ったこと、良かったこと。

B：奨学生の割当に関して、地区委員会への要望は？

C：奨学期間修了後、学友(OB/OG)とどう対処するか？

D：米山奨学会・地区委員会への希望

E：寄付金を増やすには、どうすれば良いか？

F：奨学生の世話をする事に、どのような問題があるか？

吹田江坂RCは、Cグループに属し(14RC中11RC出席)、グループリーダーは、当クラブ長島会員が担当し、討論終了後、内容をまとめて発表された。

◎意見の主なもの

A：日本文化・習慣を伝えることが出来て良かった。問題として、宗教・食文化の違いがあった。

B：多くの国から受け入れをしたい。

C：在学中は熱心であるが、学友となってからは連絡が取れない場合が多い。反面、5名面倒を見て来たが、4名とは今もクリスマスカード・メールで連絡を取り合っているクラブもある。

D：お金ばかり集めてどうするのか。より情報開示が必要ではないか。

E：前期と後期に分けて集金している。ニコニコ箱、ラッキーカード等で少しずつ集めている。

F：受け入れる際に充分説明と理解が必要(例会に欠席が多い)。学校と例会場は近い方が良い。

当クラブが出席した、Cグループでの地区委員の発言として、

○母国に帰ってからも月に一度は連絡を取り合う状態が必要ではないか。(60%以上目標に)

○若い時は、時間もない、金もなく大変と思うが、10年後20年後に花の咲くようにしてほしい。

終りに、米山奨学事業の使命は、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。米山奨学事業「豆辞典」より。

寺井会員の卓話「1年を振り返って」は、紙面の都合により次回に掲載させていただきます。